

小学校にスムーズに慣れるよう「小1ギャップ」をなくします！

小学校に入学したばかりの1年生が、幼稚園や保育園との違いに戸惑い、**学校生活になかなか馴染めないことを「小1ギャップ」と**いいます。

例えば、こんなことが起こります。

- × 授業中にじっと座ってられない
- × 先生の話聞けない、指示に従えない
- × 友達と一緒に行動するのが難しい

小学校に入ると、遊び中心の生活から勉強中心の生活に変わるため、環境の違いに戸惑う子どもが多くなります。

県は「支援員」を配置し、子どもたちが安心して学校生活をスタートできるよう、先生とともにサポートします。

【支援員の役割】

- 先生と一緒に、学校生活に慣れるサポートを実施
- 子どもが落ち着いて過ごせるよう、きめ細やかに支援

【どの学校に配置されるの？】

- 1クラス31人以上の学校（令和7年度は58校）
- 支援員の人数：80人
- 活動時間：週15時間



楽しく学校生活を
スタートできるよう
先生のサポートを受けながら、
安心して成長できる環境を
つくっていきます！



エアモビリティで未来の移動をもっと身近に！

エアモビリティとは、空を使った新しい移動手段のことです。
渋滞のない空の道を活用し、観光や移動の選択肢を増やすことを目指しています。

【今後のスケジュール】

- 令和7～8年度 ヘリコプターを使った試験飛行を行い、市民の皆さんの関心や利用意向を調査。
- 令和9年度～ まずは観光向けの遊覧飛行からスタート！ 空からの特別な景色を楽しめます。
- 令和12年度～ 市内や近隣都市との移動手段として活用し、より便利な交通手段へ。

【令和7年度に取り組むこと】

○ デモフライトの実施

→ 実際に飛行する様子をお見せし、エアモビリティを体感してもらいます！

○ 観光での活用を調査

→ どんな人がどのくらい利用したいか？

料金はどれくらいが適正か？を調べます。

新しい空の移動が、
皆さんの生活の一部になる日も近いかも！
今後の進展にご期待ください。



富士山の登山ルールが変わります！

富士山は世界遺産として多くの人々が訪れる人気の山ですが、深夜に無理な登山をする「弾丸登山」や、軽装での登山による事故が増えていることが大きな課題となっています。

そこで、県では**登山者の安全を守り、富士山の環境を保全するため、新しいルールを導入**します。

新しい登山ルール

① 深夜の無理な登山を防ぐための対策

- 午後2時以降に入山する人は、**山小屋の宿泊予約が必須**になります。
- 事前に「富士山の安全登山」について学ぶことが必要になります。

② 富士山の環境を守るための入山料

1人4,000円の入山料を徴収し、登山道の整備や救助活動のために活用します。



富士山には4つのルートがあり、静岡県側は「富士宮ルート」「御殿場ルート」「須走ルート」の3ルートから入山できます。登山口は、各ルートの五合目にあり、**入山料は全ルート共通**です。
※登山の前に、入山手続きが必要となります。事前に登録（Webシステムから可能）をお願いします。



富士山の登山道や山小屋の状況を確認するための調査

富士山は、**日本が誇る貴重な世界遺産**です。
登山をする人も、地域の方々も、
みんなが気持ちよく富士山と向き合えるように、
環境を守りながら安全に登れる仕組みを
少しずつ整えていけたらと思います。
私たちの世代だけでなく、
未来の子どもたちにも誇れる富士山を守るために、
皆さんと一緒に取り組んでいきましょう！

いたみ雅治の

ラジオ番組

ボイス・キュー
FM77.7MHz

毎月第2・第4火曜日
12:45～13:00

「県とあなたの
懸け橋」

ご意見など
お気軽にお寄せください



YouTube
公式チャンネルでも
県政の情報を
発信しています！

静岡県議会議員
いたみ まさはる
伊丹雅治

法政大学大学院（政策学）修了
三島市議会議員（一期）
静岡県議会議員（二期目）

昭和51年6月4日生まれ
家族構成：妻・長女・長男

いたみ雅治事務所

〒411-0035 三島市大宮町3-14-15
Tel & Fax 055-975-7896 <https://m-itami.com/>

